

令和4年度 第5回 福井警察署協議会 開催結果

1 日時

令和5年2月15日（水）午前10時30分から

2 場所

福井警察署

3 出席者

- 協議会委員 8名
- 福井警察署 署長以下9名

4 内容

- (1) 協議会会長挨拶
- (2) 福井警察署長挨拶
- (3) 事務概況報告

ア 生活安全・刑事関係

- (ア) 刑法犯認知、検挙状況
- (イ) 声かけ・つきまとい事案の認知、検挙状況
- (ウ) 子どもを守るための主な施策
- (エ) ストーカー・DV事案の認知、検挙状況
- (オ) 女性を守るための主な施策
- (カ) 特殊詐欺被害の認知状況
- (キ) 各種犯罪抑止・検挙対策の実施状況
- (ク) 各種犯罪の検挙状況

イ 交通関係

- (ア) 交通事故発生状況
- (イ) 民間企業と協同した取組

ウ 警備・地域関係

- (ア) 警備啓発活動
- (イ) 110番通報
- (ウ) 若手警察官の紹介

エ 警務関係

- (ア) 犯罪被害者支援に関する取組
- (イ) 若手警察職員のスキルアップに向けた取組
- (ウ) 術科訓練の推進
- (エ) ワークライフバランスの推進
- (オ) 年間活動成績表彰

オ 警察署協議会関係

- (ア) 各種訓練状況の視察
- (イ) 自治体に対する防犯カメラ設置等の要望提言に対する取組状況



(4) 質疑応答

【委員】

画像と動画を送れるという110番システムは、いつ頃から運用されるのか。

【警察】

令和4年10月1日から試行運用しており、令和5年4月1日から本格運用の予定である。

【警察】

警察にはフレックスタイムや在宅勤務といった勤務形態はあるのか。メンタルで休職する者や退職する者はいるのか。メンタル不調者に対する支援はあるのか。

【警察】

時間を指定して勤務できるというフレックスタイム制度や自宅でのテレワーク、サテライトオフィスでの勤務などを導入している。

心の病になる者はおり、休職し治療している。精神的な負担や不安を感じる者が、他人に秘密を知られることなく、産業医や保健師に相談できるシステムがある。復帰する際には、試し出勤から始め、負担にならない部署に配属したり、2人1組の勤務にさせるなどの勤務形態で、安心して復帰できる体制を整えている。

【委員】

福井市で発生した連続窃盗事件について、事件の二日ほど前に、事件があった町内で、女性が複数の家を訪問し、「女性の方いますか。」などと質問していたことがあり、もしかすると窃盗の下調べではないかと思うのだが、大きな組織の窃盗団なのか。

【警察】

連続窃盗事件は、年間通して複数発生しており、その全てが組織的かどうかは、逮捕して捜査しないと分からない。一般的に、住宅に入るような犯罪を行う際、リスクを考え、下見や、事前の情報収集をされると言われている。アポ電といって、事前に家族状況や資産状況を確認する電話があり、聴取した情報が名簿化されて、特殊詐欺や強盗事件など様々な犯罪に利用されている。福井での連続窃盗については、組織的かどうかは分からないが、事件に関係があるかもしれないと思われるのなら、警察に情報提供していただきたい。

【委員】

事例として、気をつけなければいけない文言等あれば教示願いたい。

【警察】

一般的に、インターフォンを鳴らすのは、不在確認のためであり、文言には特に意味はないと思われる。ただ、家族状況や資産状況を確認することは、通常ではあり得ないことなので、そのような質問があ

れば注意して欲しい。

(5) 警察署協議会代表者会議伝達

(6) 速度取締り指針説明、交通反則切符交付時におけるメッセージについて

ア 速度取締り指針

イ 駐車監視員活動ガイドライン

ウ 一言メッセージカードの交付